



# 世界の 2025 *in Hakone* 雪割草展

*World of Hepaticas*

Produced by 大野好弘

2025.  
3.15 ▶ 3.23  
SAT. SUN.

世界の雪割草 (Hepatica属)と  
約200株のオオミスミソウによる自生地再現ディスプレイ！

# 世界の原種へパティカ

雪国に自生するオオミスミソウ（*Hepatica* 属の一種）は、「雪割草（一般名）」と呼ばれ、早春には欠かせない園芸植物として親しまれていますが、世界には魅力的な *Hepatica* 属の植物が多数存在します。本イベントでは世界に分布する原種へパティカをご紹介します。



*Hepatica maxima*

# 雪割草をモチーフにした ボタニカルアートや工芸品

カーティスなどのボタニカルアート、雪割草がモチーフとなっているもの、雪割草の絵画、押し花アートなどを展示します。



『Botanical Magazine』創刊号（1787年）イギリスの植物学者（昆虫学者でもある）W.カーティスが発行した、植物学の本では最も古い彩色図。その1巻目に雪割草は掲載された。創刊号に登場するほど、イギリス園芸では人気があったことがわかる。花茎や葉柄の毛まで細密に描かれている。

## ～ 講演会「世界の雪割草」～

雪割草（*Hepatica*）を求めて各地を調査している演者が、実際に訪れた中央アジアやヨーロッパの自生地と魅力あふれる世界の雪割草（*Hepatica*）についてご紹介します。また、日本の研究者たちがどのような眼差しで雪割草と向き合ってきたのか、雪割草の研究史についてもご紹介します。

講師：大野好弘 日時：令和7年3月20日（木）  
13:00～14:30 定員：25名  
場所：箱根湿生花園 管理棟2階レクチャールーム

※ 講演会のお申し込みは、箱根湿生花園 0460-84-7293 まで



*Hepatica nobilis* var. *nobilis*

## 200株のオオミスミソウと山野草 による自生地再現ディスプレイ

雪国の妖精と呼ばれるオオミスミソウの自生地である里山を模した会場に約200株が咲き乱れます。



オオミスミソウ *Hepatica japonica* "f. magna"

### 大野好弘 Yoshihiro Ohno

1973年神奈川県生まれ。様々な山野草やコケを栽培する植物研究者として活躍する。特に雪割草については、40年を超える経験を持つ。2018年、World Hepatica Laboratory（ワールド・ヘパティカ・ラボラトリー）を立ち上げる。現在、東京大学植物標本室と *Hepatica*（ヘパティカ：キンポウゲ科スハマソウ属の総称）の共同研究を行っている。



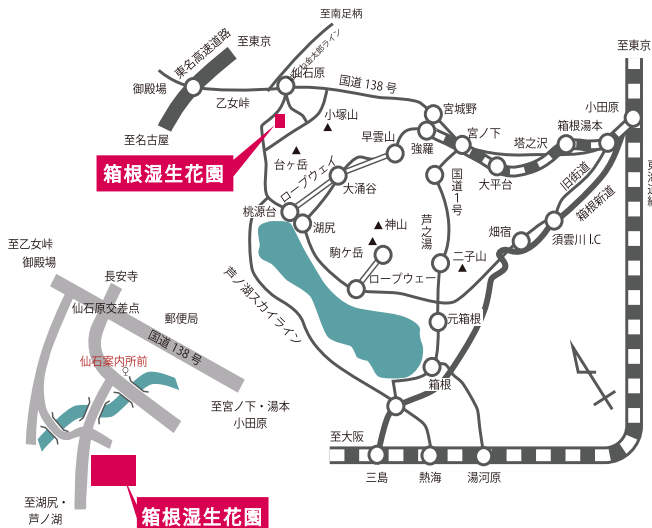
協力 東京大学植物標本室、高知県立牧野植物園

### ご利用案内

通常営業 9:00～17:00（最終入園 16:30）  
大人（中学生以上）700円 小人（小学生）400円

### アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス（桃源台行）“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス（湿生花園行）終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。



箱根シオパーク  
マスコットキャラクター  
はこじ郎

Hakone Botanical Garden of Wetlands

# 箱根湿生花園

<https://hakone-shisseikaen.com>

